

VMware Horizon Cloud on Microsoft Azure

Microsoft Windows Virtual Desktop への拡張

概要

VMware Horizon® Cloud on Microsoft Azure を利用すると、Microsoft Azure 上で実行する Horizon Cloud デスクトップに Windows Virtual Desktop の機能を拡張できます。お客様は、管理の簡素化、リモート使用環境の向上、ネイティブクラウド アーキテクチャといった Horizon Cloud on Microsoft Azure の長所だけでなく、Windows Virtual Desktop のメリット（Windows 10 Enterprise のマルチセッション、Windows 7 の拡張セキュリティ更新プログラム、FSLogix）も活用できるようになります。

詳細情報

Horizon Cloud on Microsoft Azure への Windows Virtual Desktop 機能の追加によるメリットの詳細については、<https://www.vmware.com/jp/products/horizon-cloud-virtual-desktops.html> をご覧ください。

Horizon Cloud on Microsoft Azure では、Azure 上の既存のインスタンスをシンプルで直感的な Horizon Cloud の制御プレーンに接続できるため、仮想化された Windows アプリケーション/デスクトップを提供するセキュアで包括的なクラウドホスト型ソリューションを構築できます。Windows Virtual Desktop のリリースに伴い、VMware は Microsoft との提携を通して、Horizon Cloud on Microsoft Azure を使用のお客様が Windows Virtual Desktop の機能も利用できるようにしました。

Horizon Cloud on Microsoft Azure で Windows Virtual Desktop をサポートすることで、Windows 10 Enterprise のマルチセッション、Windows 7 のセキュリティ更新プログラムの延長（無償、最大 3 年）、FSLogix の各種機能など、Windows Virtual Desktop のあらゆるメリットを享受できるようになります。さらに、以下で紹介する Horizon Cloud のエンタープライズクラスの最新機能も活用できます。

幅広いエンドポイントのサポートでユーザーのリモート環境を向上

Horizon Cloud は、広範かつ多様なクライアント プラットフォームとエンドポイントをサポートしているため、ユーザーは一般的なあらゆるデスクトップ OS やモバイル OS、シンクライアント、Web ブラウザーからデスクトップやアプリケーションにアクセスできます。また、ほとんどのプラットフォームで USB、カメラ、プリンター、スマート カードのリダイレクトがサポートされることに加えて、リアルタイム オーディオ/ビデオ プラットフォーム（Microsoft Teams、Skype、Zoom、Cisco Jabber など）もサポートされるため、充実した機能を活用できます。

さらに、Horizon Cloud は PCoIP と Blast Extreme の両プロトコルに対応しており、これらのプロトコルは Network Intelligent Transport をサポートしています。この機能は、TCP と UDP の両方を使用することでエンド ユーザーの使用環境をネットワークの状態に合わせて最適化します。これにより、地理的な場所やアプリケーション ワークロード（3D アプリケーションを含む）にかかわらず、一貫したパフォーマンスが実現されます。

Horizon Universal Broker とクラウド向けに最適化されたアーキテクチャ

VMware Horizon Cloud on Microsoft Azure では、ブローカーを備えた共通の制御プレーンにより、IT 部門が事前に設定した基準（位置情報やエンドポイントの種類など）に基づいて、エンド ユーザーを最適な仮想ワークスペースに自動的にルーティングできます。クラウド向けに最適化されたアーキテクチャにより、ゲートウェイが（ブローカーと同じ場所ではなく）ワークロードの近くに配置されるため、エンドポイントとデスクトップの距離が可能な限り近づき、ユーザーの使用環境が向上します。Horizon Cloud on Microsoft Azure 向けにリリースされるこのブローカーはハイブリッド環境をサポートするため、デスクトップ リソースとアプリケーション リソースを複数の場所（オンプレミスまたはクラウド）に展開しているお客様に最適です。

詳細情報

VMware Horizon Cloud on Microsoft Azure は今すぐご利用いただけます。無償トライアルについては、<https://www.vmware.com/content/microsites/learn/ja/horizoncloud-freetrial.html> にアクセスしてください。

Horizon Cloud 制御プレーンが提供するエンタープライズクラスの管理機能により、管理者は、あらゆる場所のリソースに対するさまざまなタスク（ユーザー管理、イメージ管理、環境の健全性チェック、エンド ユーザーのパフォーマンスの監視、ユーザー サポートなど）を単一の管理画面で実行できます。また、Horizon Cloud の機能を活用することにより、インテリジェントな電源管理、高度なロードバランシング、自動ワークロード拡張などの作業も容易にすることができます。

何よりも、VMware Horizon Cloud on Microsoft Azure は Azure Marketplace と連携されているため、お客様が Windows Virtual Desktop の使用权を保有している場合、Horizon Cloud の制御プレーン上から自動的に利用できるようになります。

柔軟なデスクトップ オプションと構成

Horizon Cloud の制御プレーンにより、お客様は単一の管理画面から、あらゆる場所（オンプレミスまたは Azure）にあるデスクトップ環境を管理できます。両プラットフォームでデスクトップの流動割り当て（非永続的）、専用割り当て（個人用または永続的）、そしてプールに対応していることに加え、Azure のさまざまなタイプの仮想マシンに柔軟に対応し、オペレーティングシステムも幅広くサポートしている（Windows 10 Enterprise のマルチセッションなど）ため、ユースケースに応じて最適な方法で仮想デスクトップ / アプリケーションを展開できます。

ユーザーの環境管理

Microsoft Windows Virtual Desktop に組み込まれた FSLogix は、プロファイル管理に関するさまざまな問題を解決するための機能です。VMware Horizon Cloud on Microsoft Azure には、FSLogix をベースにした機能や FSLogix の代わりとなる機能が搭載されています。たとえば、VMware Dynamic Environment Manager[™]（旧称 User Environment Manager）を使用すると、FSLogix プロファイルや Office 365 コンテナにユーザー環境管理機能を追加できます。

ハイブリッド環境

クラウドへの移行を一度にすべて行うことはめったにありません。したがって、複数の場所（オンプレミスを含む）で稼働するデスクトップを展開、管理、保守、監視できる機能が重要です。VMware Horizon Cloud on Microsoft Azure ならそれが可能です。グローバルでインテリジェントなブローカー機能、高度なエンド ユーザー使用環境、幅広いエンドポイントのサポート、そして優れた柔軟性により、VMware はクラウドへの移行をすべての段階（ハイブリッド環境、ディザスタ リカバリ、クラウド パースティング、そのほかのユースケースなど）にわたってサポートします。